



No.13 (2008.7)

地域と結ぶ

順天堂大学練馬病院ニュース



皆さまの心と身体のオアシスで
ありたいと願っています。

体調の悪いときは
順天堂大学練馬病院へ。

第102回 医師国家試験の結果発表について

順天堂大学医学部では、毎年90名の医学生が卒業し、医師国家試験に臨んでいます。

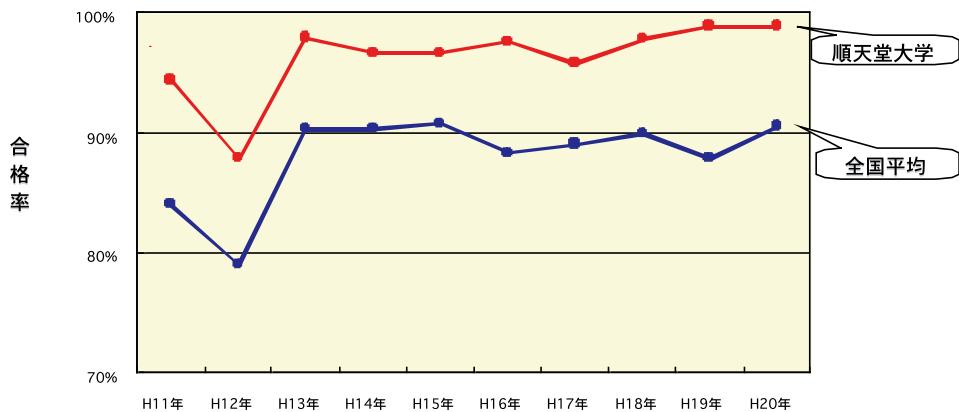
“国家試験をものともしない教育”が、
順天堂のモットーです。

そして、順天堂練馬病院にも、医師国家試験に合格したばかり25名の初期臨床研修医が、平成20年4月1日より着任いたしました。また、来年の第103回医師国家試験を目指す多くの医学生も、この練馬病院で臨床教育を受けています。

“仁の心”、“不断前進の心”
“患者さまが先生です”が、
臨床教育のモットーです。

平成20年3月28日発表 第102回 医師国家試験 結果

医師国家試験 合格率推移



第102回 医師国家試験成績 結果

- 1位 自治医科大学 99.1%
- 2位 順天堂大学 98.1% →

過去 3年平均 → 第1位／80校(国公私立大)

過去 10年平均 → 第1位／80校(")

新任科長紹介

病理診断科

教授 松本 俊治

4月1日より、順天堂大学練馬病院「病理診断科」に赴任してきました松本です。

病理診断科は厚生労働省で新たな標榜科として本年4月1日より新設された診療科で、適切な医療機関としては必須の診療科として位置づけられています。

病理診断科では、内視鏡検査等の生検検査や喀痰・尿等の細胞診検査の顕微鏡下での診断業務を担当しています。また患者さんが手術を受けたさいの手術中の迅速病理診断を行い、適切な手術が受けられるように外科の先生がたをサポートし、手術的に摘出されました組織の顕微鏡下での診断業務も行っています。

本病院の病理診断科では患者さんの主治医と緊密に連絡をとり、迅速・正確に病理診断の結果をお伝えしております。また患者さんの診断・治療方針についての各診療科の合同検討会では病理診断のセクションを担当し、患者さんが適切な診療・治療を受けられますようにバックアップしておりますので、宜しくお願ひ申し上げます。



脳神経内科

准教授 平澤 基之

このたび順天堂大学練馬病院「脳神経内科」に赴任いたしました平澤と申します。

脳神経内科は、脳梗塞やパーキンソン病等に代表される脳に関わる病気を診療しております。主に薬の内服にて治療を行っていますが、外科適応のある病気には適宜脳神経外科の先生とも相談させていただいております。脳梗塞は正確な診断治療が大切ですが、再発予防のために動脈硬化の予防が非常に大切な病気です。地域医療と予防医療とを取り入れた診療を行ってゆきたいと存じます。しびれ、頭痛、物忘れ、歩行障害等でお悩みの方はお気軽にご相談ください。



都西北地区随一の 子供の眼科外来 子供の目の成長について

眼科 先任准教授 横山利幸

子供の目って大人と違うの？

特に乳幼児では大人の目と違って、見る力がまだ発達途中です。生まれたときには軽い遠視で、あまり視力もないのですが、物を見ていることによって成長とともに視力も発達してきます。眼の長さも生まれたときは大人の三分の二くらいですが、1年でほぼ大人の9割くらいの長さになります。乳児が目標を見ようとする反応(固視)は生後2~3ヶ月で、ものを追うようになる(追視)は3~4ヶ月で出てくるのが普通です。視力も大体3歳くらいでかなり大人に近づき、6歳でやや未熟ながらも完成します。



先任准教授 横山利幸

成長過程には、なにがあるの？

目の成長は、強い遠視や乱視があったり、斜視やそのほかの病気があると阻害され、めがねをかけても視力が不良のことがあり、これが弱視です。この中にはよい治療が無い病気もありますが、早く見つかってめがねをかけたり、訓練すれば回復するものもたくさんあります。

どうすればいいの？

遠視や乱視のための弱視は3歳児検診で発見されれば治療可能です。めがねをかけることに抵抗のあるご両親もいらっしゃいますが、子供の視力のためには是非必要な場合があります。



子どもの手術は何でも
ご相談ください

小児外科外来拡大!!

小児外科 先任准教授 浦尾 正彦



院長 宮野 武



科長 浦尾 正彦



済陽 寛子



柿田 豊

●小児外科とは？

平成17年に開院以来、練馬区唯一の小児外科施設として地域の小児医療に貢献してまいりました。しかし、まだまだ一般の患者さんには小児外科とはどんな科か分かりにくいようです。小児外科は脳、心臓、整形以外のほとんどすべての小児の手術をカバーします。最も多い疾患はソケイヘルニア、包茎、停留睾丸などですが、肝臓、腎臓、消化管、体表などさまざまな臓器の疾患を手術します。

●腹腔鏡で侵襲の少ない治療を心がけています

私どもが特に力を入れていることは、脆弱な小児に対して如何にストレスを少なくするかということです。そのため積極的に腹腔鏡を用い、体へのストレス、合併症を減少させると同時に、創部を如何に小さくするかということも重視して手術をおこなっております。

●診療体制

当院の小児外科は、浦尾科長の他に4月より済陽(わたよう)医師を加え、世界的小児外科の権威である宮野院長の常勤3人体制となりました。非常勤の柿田医師と共に、今まで以上に迅速、綿密な対応を心がけて行きたいと思っております。

●小児外科 外来担当 ○：小児科で初診をお受けします。

曜日	月	火	水	木	金	土
午前	○	浦尾	○	○	浦尾	○
午後	浦尾	○	宮野 柿田	浦尾	○	

大腸がんは増えている 健診で早期発見を!!

内視鏡センター便り 消化器内科 淄教授 小林 修

大腸がんが増えている!

大腸がんは、欧米諸国同様、わが国でも増加し続けており2005年の厚生労働省の報告では、悪性腫瘍の部位別には、肺がん、胃がんに次いで第3位の死因となっています。(女性では第1位、男性第4位の死因)わが国における大腸がんの死亡者数は20年前の約2倍となっていますが、これらはライフスタイル、食生活の欧米化という環境要因の変化が関連しているものと思われます。

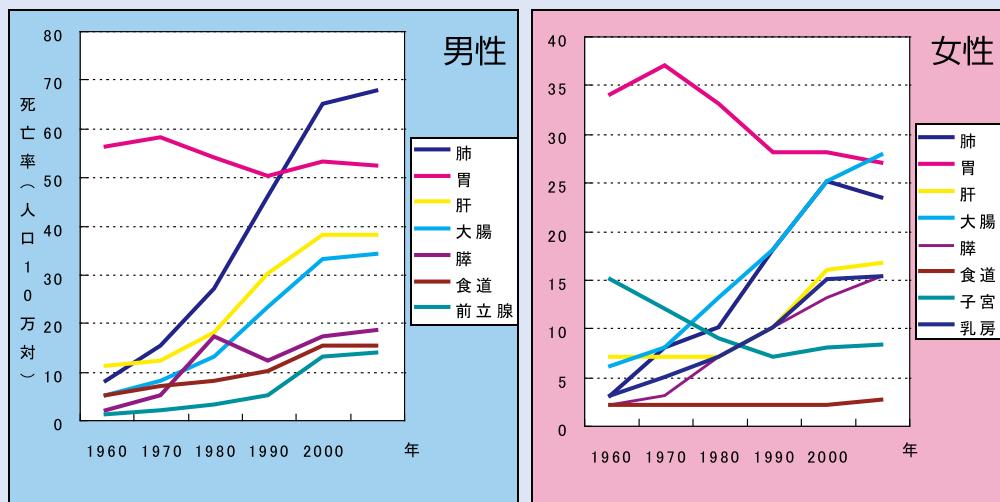


准教授 小林 修

便潜血反応検査とは?

大腸がんの早期発見、治療を行うためのスクリーニング法として便潜血検査が幅広く行われています。多くの大腸がんは出血しやすく、便などの刺激で少量の血を流し続けることが多いです。この出血に肉眼的に気がつくこともあります、多くは肉眼的には気がつきません。便潜血反応検査では、目には見えないような微量な出血を感知することが可能であり、無症状のうちに早期の段階で発見することができます。

<大腸がん増加の推移>



トピックス

最新のナローバンドUVB療法を開始しています。 皮膚・アレルギー科 教授 比留間 政太郎

当院では、ナローバンドUVB装置が導入され、皮膚病の治療に効果をあげています。

1.ナローバンドUVB療法とは、何ですか？

治療効果が高く副作用の少ない波長のみからなる紫外線照射装置です。これまで難治であったアトピー性皮膚炎、乾癬、白斑、掌蹠膿疱症、脱毛症、結節性痒疹、菌状息肉症などの治療に有効です。

2.どのように行うのですか？

- ①光線室の中に入り、照射する部位を露出します。
 - ②紫外線から目を守るため、光線用ゴーグルをします（念のため目も閉じてください）。
 - ③照射量を設定し、照射を開始します。
 - ④はじめは、1~2分間で終わります。
 - ⑤副作用は日焼けです。翌日照射部位がヒリヒリしたら、次回医師・看護師に申し出てください。
- 皮膚病は、なかなか治り難いものです。疑問点は遠慮せず担当医へ申し出てください。



めまい小話

耳鼻咽喉・頭頸科 講師 畠 将晃

「めまい」という症状は、日常の診療の中で非常に多い症状の一つです。では、そもそも「めまい」とはいったい何でしょうか？

「めまい」は「平衡覚」が障害された時に出現する症状と説明できます。聞こえ＝「聴覚」を感じるのは耳ですし、におい＝「嗅覚」を感じるのは鼻です。しかし、こと「平衡覚」に至っては耳の奥にある三半規管をはじめとして、体の筋肉、小脳、脳幹、脊髄、眼球など実際に様々な臓器が関与してきます。また、こうした諸臓器に問題がないとしても、現代のストレス社会では、精神的な問題でめまい感が生じることもあり、こうした原因の多様性はめまいの診療を難しくしています。

めまいの診療の場では、患者さんのお話、すなわち問診が重要になってきます。治療は薬物療法が中心となり、ほとんどの方は、抗めまい薬の内服で改善をみます。しかし、メニエール病や突発性難聴などの内耳の病気は、聴力低下を伴うことがあります。この場合早期の治療が必要です。また、手足の麻痺、呂律不良、意識が欠落するなど症状を伴っている場合は、脳血管障害などの危険なめまいが潜んでいることがあるので注意が必要です。



かかりつけ医はいらっしゃいますか？

当院は皆さまのかかりつけ医の先生と連携した診療を行っています。

- ・地域に密着した診療を行うために、そして患者さん一人ひとりに、安全で根拠に基づく適切な質の高い医療を提供するために、ご自宅や仕事場の近くに「かかりつけ医」をお持ちいただくことをお勧めします。
- ・普段のお薬は「かかりつけ医」で、定期的な検査は「順天堂大学練馬病院」で、連携して診療をさせていただきます。
- ・もちろん急に具合が悪くなったときなどはいつでも当院にご来院ください。



かかりつけ医を持ちましょう

- ・東京都医療機関案内サービス“ひまわり”では、お問合せの間に診療を行っているお近くの医療機関をコンピュータによる自動応答サービスでご案内しています。

電話 03-5272-0303

聴覚障がいの方等専用ファクシミリ案内 03-5285-8080

外国语(英語・中国語・ハングル・タイ語・スペイン語)での医療情報は03-5285-8181

インターネット パソコン <http://www.himawari.metoro.tokyo.jp/>

携 帯 <http://www.himawari.metoro.tokyo.jp/kt/>

東京都の医療機関案内(毎日24時間) 保健医療福祉相談(平日午前9時～午後8時)

予約センターのお知らせ

- ・紹介状をお持ちの患者さんは、予約センターで診療予約を承ります。
- ・できるだけ事前予約をおとり下さいますよう、お願ひ申し上げます。
- ・診療科によっては、紹介状をお持ちでない患者さんは、当日診察できない場合がございます。
- ・紹介状を手元におもちになり、ご連絡ください。

電話番号：03-5923-3240

受付時間：午後1時～4時

受付曜日：月曜～金曜日(平日)



順天堂大学医学部附属練馬病院

〒177-8521 東京都練馬区高野台3-1-10

電話 03-5923-3111

URL <http://www.juntendo-nerima.jp/>